

遠賀川流域における生態系ネットワーク形成の促進に向けて(提案書案)

資料3-1

■ 流域の現状と課題

流域の自然環境

- 森林施業の担い手減少による森林荒廃
- ため池や農業用水路等の湿地環境の劣化
- 宅地化等による水田等の湿地の減少

流域の社会環境

- 上流域を中心に人口減少、高齢化の進行
- 上流域を中心に厳しい雇用情勢
- 豊富な農作物、歴史・文化的資源の存在
- 流域における活発な住民団体の活動

河川の水環境

- 河川の水質は九州の中でワースト上位
- 河川に流入、投棄されるゴミの問題

河川における生物の生育・生息環境

- 瀬・淵、砂州、ワンド・たまり、ヨシ原の減少
- 河川の縦断的、横断的な連続性の喪失

■ 生態系ネットワーク形成の目標

- 石炭産業が盛んになる明治期以前の流域環境に近づけていく。
- 豊かな自然を活かし、観光振興や交流人口の増加、雇用の確保、定住化等につなげていく。

■ 生態系ネットワーク形成の進め方

- アユやオイカワ、ナマズ等の生態系ピラミッドの下位にある身近な生物が生息できる環境から順に整えていく「ボトムアップ方式」により生態系ピラミッドの形成を図る。
- ポテンシャルの高い拠点(点)から始め、拠点周辺に隣接する箇所を整備し、回廊(線)でつなぎ、さらに隣接する回廊をつなぐ(面)ことにより、点から線、線から面へと生態系ネットワークの形成の促進を図る。
- 生態系ネットワーク形成の促進を図ることによって得られる豊かな自然を、歴史・文化的資源と有機的につなげて、観光振興や交流人口の増加、雇用の確保、定住化等につなげていく。

河川における取組

- 河口域干潟の保全・再生
- 河川の縦断的連続性の再生
- 河川とその周辺の横断的連続性の再生
- 河川における湿地環境の再生
- 外来生物の駆除等

流域における取組

- 人の営みと自然が調和した農地環境の保全・再生
- 里地・里山における水辺のネットワーク形成
- 人の営みと自然が調和した森林環境の保全・再生
- 流域の環境を守る人材の育成
- 豊かな自然、歴史・文化的資源を活かした地域振興
- 流域における多様な主体の連携

遠賀川流域生態系ネットワーク形成 イメージ図

